

町民との会議 報告書

(参加者：合計延べ 50 人、議員 14 人)

令和 8 年 5 月 24 日(日)、31 日(日) 10 時～

会場：24 日 堀内会館・下山口会館・上山口会館

31 日 木古庭会館・一色小学校新館・長柄会館

1. 開会 自己紹介 閉会 各会場司会担当者

2. 意見交換（テーマ自由）

3. 各会場の状況

会場	ご参加いただいた人数	出席した議員
堀内会館	13 名	山田（司会）・中村（書記）・三浦・石岡
下山口会館	6 名	金崎（司会）・笹本（書記）・近藤・伊東
上山口会館	6 名	荒井（司会）・笠原（書記）・窪田・星・土佐議長
木古庭会館	14 名	荒井（司会）・笠原（書記）・窪田・星
一色小学校新館	7 名	山田（司会）・中村（書記）・待寺・土佐議長
長柄会館	4 名	金崎（司会）・笹本（書記）・近藤・伊東

この会議は、町民と議会との交流の機会を増やし、町民に開かれた議会を目指すため、皆さまから率直なご意見を伺ったものです。

頂いたご意見・ご質問等については全議員で共有の上、内容を精査・検討し今後の議会活動に生かして参ります。

【意見概要】

《自己紹介・参加の動機や目的》

- 子どもの居場所に関心がある。どんなまちづくりをしているか、情報を持ち帰りたい。
- 葉山で育ち、結婚で横浜に引っ越したが、子育てのために戻ってきた。戻ってきて 3～4 年。近況を知りたい。公園について聞きたい。
- 町で生まれ育って 80 年。町の政治がひどいと思う。
- 葉山生まれで子供を 2 人育てた。よく議会の傍聴に行く。

- 移住して1～2か月。どんな困りごとがあるのか、知りたくて来た。
- 葉山に移住して1年。自治会に属していない。この催しは広報で知った。
- 議員との話し合いがあると知って来た。全議員が参加すると思っていた。
- こういう催しは初めて。もっと早く開いてくれてもよかった。
- 町の施策に、住民の意志をどう反映させるか。こうした、少数議員による情報交換の機会を増やしてほしい。今日出た意見は、議員全員で共有してほしい。
- 町が主催すると平日になるので、土日に開いて、若い人が来られるようにするべきだ。

《防災》

- 防災上の取り組みは、ペットの問題、支援物資の輸送、水の問題等、いろいろある。議員には持ち帰って、町の施策に反映させてもらいたい。
- 避難所が町のどこにあって、どこに避難したらいいのか分からない。分かるようにすべき。学校を避難所にするには、医療を用意しなければ無理だ。
- 一時避難所が一番大事。津波避難の場合、大同生命に物凄い人が集まる。キャパが足りない。1週間くらい孤立することを想定し、山側に物資の集積所が必要だ。シミュレーションして、計画を立てるべきだ。
- 自治会も高齢化している。災害対応等を丸投げしても対応できない。自治会を育てるのが行政の仕事だ。
- 学校を避難所にする場合、警備員がいるとか、近くの職員が合鍵を持っているとかしないとダメ。排泄が最も大事。簡易トイレ、下水道直結のトイレなど。ソーラー電源も必要。現実的に対策を講じないとダメ。神戸の震災の時、避難所では弱者が辛い目に遭った。
- 津波の場合、道に人が溢れて、山に逃げ切れない。心配だ。計画が見えない。最初に逃げる場所の確保を。
- ハザードマップ、町は金をかけていない。被害の解析が甘い。鎌倉、逗子はもっと高度のシミュレーションをしている。
- 別荘地として利用している人たちは、コミュニティができていない。17大学の合宿所があるので、大学生との連携を。
- 防災については、事実と想定と希望を分けて考えなければいけない。
- 関東大震災の時、永楽屋のところまで津波が来た。一人ひとりが考えなければいけない。
- 「自助」をもっと強く言った方がいい。その方が被害を減らせる。高齢者は山の方へ住み替えるよう言うべき。防災のことを考え、強制的に自治会に入らせる。
- 防災に特化した組織が必要かも。既存の仕組みに囚われない考えを、議会が出してほしい。
- 地震で死ぬ人は少ない。津波による死者が多い。山に逃げたら、崖崩れが起きることもある。
- 災害が起きた時、行政がセンターになって、住民に情報提供や指導ができる体制が必要だ。町民がそこに電話をかければ、全て手配してもらえるように。海外には事例がある。ベースのところをしっかりと作ってほしい。
- 災害時に、陸の孤島になるのではないか。

- ペット同行一次避難先は学校だが、二次避難先（長期）がない。
- 上山口小学校より、上山口会館のほうが避難しやすい。
- ハザードマップが分かりにくい。白地図に色を乗せただけで、住宅位置が分からない。
- 長柄小学校防災フェス等で、顔見知りを作ることも大事だ（独居高齢者など）。
- 行政側が個人情報（病状など）を公表しないから、助けようにも助けられない。
- 隣近所という概念はどこまでなのか（民生委員、町内会長、消防団までか等）。
- 長柄会館について。一時避難所に指定しているので、耐震診断等を町の責任で行ってほしい。高価だからできないのか。また、氏子会所有なのか等、敷地の所有権関係は。
- 長柄会館の場合、避難所の方が（自宅より）経年劣化しているのは皮肉である。長柄は高齢者の独居の方が多いので、不安解消という意味での避難には意義があるだろうが。
- 防災用備品の適正化について。避難場所に来た人に「どうぞ」と渡すだけの体制ではなく、来られない人への対応も考えてはどうか。

《堀内会館（地域防災を含む）》

- 建て替え問題で、住民が困っている。近隣住民の意向を第一にして、同じ場所に建て替えてほしい。わずかだが、今の場所の方が、南側より標高が高い。
- 明治時代、この場所は第二小学校だった。そこに小学校があったのには、理由がある。由緒のある、シンボリック建物だ。同じ場所に建ててほしい。有事だけでなく、平時の利用も考えてほしい。
- 堀内会館は鉄骨で、屋上にも上れるようにしなければいけない。一時的に何人でも助かるものにしてほしい。津波が1～2メートルで済むとは限らない。山で反射して戻ってくる。垂直避難の準備が足りない。
- 5億円もかかるなら、建て替えについてきちんと説明を。
- 堀内地区は住宅密集地。山が迫っている。火が出た時、山に燃え移ったら、消火するための水源が少ない。

《子育て・公園》

- 子育てして思うのは、公園が足りないこと。赤ちゃんや幼児が安心して遊べる公園がない。遊具が古くて不足している。自転車を練習できる公園が近隣にない。
- 南郷のインクルーシブ広場は、想像していた公園ではなかった。横須賀の「ソレイユの丘」のような公園を期待していた。滑り台などの遊具も、下が地面なので泥で汚れている。クッション性のある敷物が欲しい。車椅子の人が散歩を楽しめるよう、芝生も整備してほしい。お弁当が食べられる

椅子やベンチが欲しい。

- 南郷公園のあずまやは、一人が座ると他の人が使えない。ベンチを工夫するなどして、複数で使えるようにできないか。
- 葉山公園の駐車料金値上げがショックだ。お金がある人しか遊びに行けないような気がする。町の人には10回分の回数券を出すとか、工夫できないのか。県に言えないのか。
- 空き地を公園として活用ができないか。
- 川下橋公園について。つつじの繁っている箇所が目隠しとなり、公園から出る際、交通事故につながるような危険を感じる。ごみがよく落ちているため有志が拾っているが、町は把握しているのか。ごみ箱を設置できないか。

《学校再整備・老朽化・運営》

- 小中一貫校、200億円。財源をどう調達するか、聞いていない。金利が上がっているので、町の財政が心配だ。維持管理の費用は計算に入れているのか。町民が減る中で、財政負担は重くなる。町民に対する説明が足りない。
- 小中一貫校について町に説明を求めているが、未だ固まっていなくて説明会を開いてくれない。堀内は南郷中と葉山中の2校区に分かれている。もっと町民の意見を聞いてほしい。図書館を融合させるとは、初耳で驚いた。
- 小中一貫校のパンフレットがある。ソフト面は進んでいるので読んでほしい。子どもたちが町に出て学習する機会が増えている。
- 小中一貫教育のソフト面は進んでいるが、ハード面は？
- 一貫校には、避難所としても活用できるよう、総合センター的機能を持たせるべき。
- 小中一貫校について知らなかった。聞かせてほしい。
- 学校の教頭と話したが、一貫校だと通学が問題になる。
- 町外の中高一貫校に入りたい人は、高校で選択するしかない。私立の中高一貫校に進学する時、カリキュラム面で整合性がとれるのか。私学を選ぶ人が増えている。
- 葉山小学校の敷地に建てるなら、一色小学校に仮校舎を設置するのか。子どもたちの通学面での負担が大きいのではないか。心理的な面が心配だ。運動会などの行事も、校庭が狭くて大変ではないか。廃校になった跡地の利用はどうするのか。
- 堀内会館の件もそうだが、町では「もう決まっている」ことが多すぎる。もっと町民にはかるべきだ。
- 避難所対策委員会で校内を見て回った。校舎があまりにも汚い。
- 学校のメンテナンスが足りない。体育館の雨漏りなど、避難所なのに困る。校舎の老朽化もひどい。役場のメンテナンスも足りない。きちんとメンテナンスの方が長持ちするし、費用も安くなる。
- 中学校給食時間が短い。葉山中、南郷中の給食回数が異なる等。

《長柄小学校》

- 放課後支援や、コミュカフェのような取り組みが素晴らしい。
- 遊具（滑り台・一輪車）が破損したままになっている。安全対策を講じてほしい。金網の破れている箇所と、南側階段の手すりは修繕が必要だ。
- トイレの老朽化について（議員から、年内に改修予定と説明）。
- 外回りのスピーカーの音響が、内容が聴き取れないほど悪く、学校設備として修繕が必要だ。長柄町内会が代替機を持ち込んだところ改善したが、原因が老朽化か地形のせいなのかわからない。
- 防災行政無線の聴こえづらさがあり、災害時の避難所としての機能にも疑義があり危険だ。

《開発問題・まちづくり条例》

- 町は、まちづくり条例の運用が甘い。工夫が足りない。
- 茅木山の開発について、山の斜面の大量伐採（管理伐採）や風致地区違反伐採があり、まちづくり条例の遵守を要望する。
- まちづくり条例の見直しについての意見。水対応を明記する。特定開発逃れを防ぐため、規制面積 1,000 m²を 500 m²に下げる。猶予期間の 1 年間の延期等。
- 下山口の「大崩れ」と言われている軟弱地盤にも、マンションが建設されている。都市計画法を重視してほしい。
- 景観は葉山の価値なので守るべき。
- 水の問題がある。山からの湧き水が、道路に流れてくる。町に何とかしてほしい。
- 山の整備も足りない。
- 無電柱化はどうなっているのか。
- 三家橋の開発では井戸を埋め、木を伐採した。
- 葉山には昔から井戸が多い。井戸の登録をしてくれるよう、働きかけている。
- 旧役場跡地が放置されているが、健康増進施設等の設置を要望する。
- 周囲を囲って廃棄物や資材を保管している、ヤードのようなものが増えていく。町はその内実を把握しているのか。資材置場と申請していて、実は廃棄物置場ということはないのか。議会で質問してほしい。

《道路・交通》

- 歩道整備をしてほしい。狭あい道路解消のため、セットバックを守らせてほしい。
- 下山口の町道について、できるところから順次拡幅の着手をしてほしい。100 名前後の学童が通学路として使っている。
- 道路脇の住宅等からの樹木が飛び出ている危険だ。
- 砂がたまり、草が生える県道の清掃と整備をしてほしい。河川も土砂の堆

積があるので、管理してほしい（神奈川県管理下とは承知）。

- 上山口小学校への通学路の安全対策（倒木、落石等）をお願いしたい。
- ベビーカーや子供、自転車の通行ができない。また、バイク走行の男性（参加者の子息）について、落ちてきた木による事故あり。
- 街灯、カーブミラーの増設要求。
- 町内の道が狭く、ベビーカーで通りにくい部分がある。
- 2時間かけて都内に通勤しているが、終バスが早い。
- 「はやまるタクシー」が使いにくい。デマンド方式には不満が多い。事前予約制より、定期路線を巡回する方がよい。予約方式だと義務感が出て嫌だ。
- 「はやまるタクシー」は高齢者の通院を目的の一つにしているというが、通勤・通学にも使えるようにしてほしい。第1地区と第2地区をつないでほしい。葉桜の人が役場方面に行くのが不便だ。京急バスの路線と重ならないルートで、整備できるのではないかな。
- 「公共交通会議」の住民代表が連合町内会長1人で、足りない。業界関係者の利害調整の場になっているのではないかな。
- 逗葉新道無料化を希望する。三浦半島中央トンネル北側トンネルの建設が優先されているのではないかな。
- ドラッグストア葉山長柄店とコンビニ・飲食店をはさむ、県道311号線に横断歩道が欲しい。ゼブラゾーンだけでもできないかな。
- バリアフリーの観点等から、全国的に歩道橋は撤去の方針だが、長柄交差点の歩道橋がなぜか改修されているのは、時代の趨勢に逆行しているのではないかな。
- 南郷交差点の渋滞を緩和してほしい。
- 逗葉新道・県道311号線沿いで、街路樹が飛び出ている歩行者が危険だ。町内会で切っていいか。せめて、切ってよい旨の許可が欲しい。
- 土手の路肩の防草シートを徹底してほしい。張っている所と張っていない箇所に差がある。
- 町内の清掃や整備等をしようとする時、町民自身の持ち出しがあるときつい。例えば、領収書を出せば精算できる等のシステムが欲しい。

《臨御橋》

- 架け替えが補修になったことへの不満がある。そもそも、町は架け替えだと言って寄附を集めた。
- コンクリートが爆裂しており、元には戻らない。
- 令和10年完工予定の補修計画では、すぐに爆裂が起きてしまう怖れがあるが、木の橋にすれば100年もつ。
- 後発のみそぎ橋が先行した報道に驚いた。
- プレストレストコンクリートなら、橋脚が不要なので、2億円台で作れる。
- 架け替え、補修の手法も合わせて、公開入札すればよかったのではないかな。

《高齢化・人口問題》

- 高齢社会の現状・対策について。休耕農地活用、空き家対策は。
- 木古庭地域の家屋と世帯数は。また、世帯数と家屋数の違いは何か知りたい。
- 以前と比べて長柄の人口が増えている。
- 家を貸せない、売れない等、貸し渋りがあるが、空き家バンクの活用等ができないか。

《終活》

- 終活制度について、町民の意見を聞いてほしい。
- 終活という個人情報にかかわる問題を、社協に投げるのはおかしい。守秘義務のある立場の者にやらせるべき。
- （他の参加者から）社協にも個人情報保護義務がある。

《町内会・自治会》

- 町内会回覧版の配布活動で、各家庭間が離れており、大変だ。労力軽減に、電子化を提案する。
- （他の参加者から）電子回覧を導入した葉山町内の他自治会では、退会者が続出した。
- 町内会の組織のメリット・デメリットは。組織の効率化や充実に向けて、どのようなメリットがあるのか、アピールをすることが必要だ。
- 消防設備点検費用は、町が負担するべきではないか。
- （町内会事務担当者から）各入金については、入金項目がわかるような記述が欲しい。
- 長柄町内会は加入率7割前後（1,000世帯弱）。
- 個人が、町内会へ積極的に参加してくれるか。面倒くさい組織なのかどうか、気にしている人がいる。
- 町内会費納付はPayPay等の決済手段を設けたら、すぐに集まる町内会もあった。
- 自治体が住民にタブレットを支給しているところもある。伝統的な掲示板は廃棄の方向にある。
- 長柄御霊神社の祭礼について、警察が交通整理を行わなくなった。神輿会や消防団ではやりきれない。
- 近隣で、グレーチングの下から草が生えている。その除草は町内会でしてほしい。

《暮らし・まちづくり》

- 市街化調整区域（上山口）は、いろいろな面で取り残されている気がする。木古庭住民も、仲間外れ感を持っている。人口の少ない地域へも、行政の目を向けてほしい。

- 民泊に関しては、本町だけでない共通のルール化が必要だ。ごみ出しや、騒音問題等についての不安がある。葉山の町は、外国人向けの観光地化をするのか。
- イノシシについて。一晩で7キロの里芋が被害を受けた。町の対策や対応の現状はどうなっているのか。
- 住まい周辺で野良猫が住み着き、個人で今まで11匹、猫の去勢費用を出し対応した。去勢手術費用の助成をお願いしたい。（議員から保護団体・助成制度等の説明をした）
- 市街化調整区域での合併処理浄化槽の進捗状況。補助金の継続を望む。
- 世帯数は増えているが、高齢世帯にはよくても、子育て世帯が暮らすには、環境面の整備不足ではないか。人口が増えている自治体は、整備にお金をかけている。
- 山と海が葉山の財産だ。私は逗子から引っ越してきた。通勤時間が増えても住む価値はある。
- 「住み続けたい町ナンバーワン」と町長はよく言っているが、疑問だ。
- 逗子市は図書館や市民プラザ、プール、学校などが一カ所に集まっている。葉山もそうしたらどうか。町の施設は役場や文化会館など、奥まった場所にあり、使いにくい。
- 不便だからこそ、葉山に住むという人もいる。
- 車やバイクを、自宅外の道路に停めている人がいる。また、戸別収集のごみ箱を道路に出していたり、強風で、ごみ箱が道路に飛んでいたりする。回覧などで、町から注意してほしい。あと、スズメに餌をやっている人がいるが、フンなどの被害がある。（他の参加者から、町内会に言うといよとの指摘あり）。

《ペット》

- 半世紀、落ち葉掃除をしてきたが、飼い主が犬のフンを責任もって始末してほしい。町外の人から「葉山は汚い」と言われショックを受けた。
- ペットマナーが悪い。特に海岸で、飼い犬のフン始末が悪い。
- うんちは飼い主が処理するべきで、町のうんちボックスについては「他人の犬の後始末をさせるのか」という疑問あり。

《クリーンセンター、ごみ》

- 再整備の課題解決についての質問。
- 燃えるごみの収集が、週に一回になったのはつらい。おむつや生理用品など、臭いがするものを一週間置いておくのは大変だ。透明な袋でないと回収してもらえないのも困る。

《イベント》

- 花火大会はやめてよいと思う。渋滞がひどい。町外に情報を流さなくても、流れてしまうので人が来る。
- 町主催イベントが減った（ふるさと祭り、つつじ祭り等）。

《その他》

- 町役場窓口申請時に（内容と時期不明）たらい回しされたことから、サービス向上のための行政の横連携について。（他の参加者から、窓口業務以外は縦割りが必要な部署もあると指摘あり）。
- 議会だより 164 号に対する苦言（新入生の写真は、2 校だけではなく、4 校にすべき）。
- 陳情審査は、細かい点で揚げ足を取るのではなく、趣旨を汲んで審査してほしい。アラを探して不採択にするのではなく、きちっと議論をすることによって解決していくべき。